

令和5年度社会福祉法人同朋会事業報告

令和5年度(2023)は、5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されました。その後の対応策についてはそれぞれの分野で対応が様々ですが当法人は障害・老人・児童と弱者を預かっており、基本的には従来通りの予防対策で対応してまいりました。その間、一部の事業所ではクラスターが発生し、対応に追われた時期もありました。

各事業所の経営状況においては、相変わらず社会福祉法人を取り巻く環境は厳しい中それぞれの分野が情報の共有、人材確保並びに育成、留学生を含む外国人材の確保に努めサービスの質の向上に努めてきました。

制度内事業体にいる当法人にとって、令和6年度の介護・障害福祉の同時報酬改定に向けて実践的な対応ができるよう努めなければならない。

法人全体として6年度に向けての課題は山積しているが経営分析会議・中長期計画会議において情報を共有しながら将来を見据えた取り組みが不可欠である。

1 役員会の開催

(1) 監事監査

令和5年5月18日(木)

- ・令和4年度法人本部並びに各事業所の事業報告・決算報告・資産の状況等

(2) 理事会

令和5年5月24日(水) 第1回理事会

- ・令和4年度同朋会本部並びに各事業所の事業報告について
- ・令和4年度同朋会財産目録について
- ・令和4年度同朋会本部並びに各事業所の決算について
- ・監事監査報告について
- ・令和5年度定時評議員会の開催について
- ・任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について
- ・定款変更について
- ・美山荘の冷暖房設備の大型修繕の業者決定について
- ・高富保育園の給食委託業者の業者決定について
- ・同朋会諸規程の変更について
- ・社会福祉充実残額シートについて
- ・その他報告事項

令和5年6月10日(土) 第2回理事会

- ・理事長の選定について
- ・業務執行理事の選定について

令和5年10月20日(金) 第3回理事会

- ・令和5年度同朋会本部並びに各事業所の一次補正予算について
- ・令和5年度同朋会第2回評議員会の招集について
- ・椿野苑の空調設備老朽化に伴う大規模修繕工事の業者決定について
- ・同朋会諸規程の改定について
- ・その他報告事項

職務執行状況報告について

かがしまこども園の防水改修工事の業者決定について

旧花笑みクラブの住宅改修工事の業者決定について

かがしまこども園・かようこども園の実地指導結果報告について等

令和5年12月22日(金) 第4回理事会

- ・幼保連携型こども園高富保育園の運営規程の変更について
- ・施設長の任免について
- ・令和6年度岐阜県介護福祉士等修学資金貸付連帯保証人対象者について

令和6年3月14日(木) 第5回理事会

- ・令和5年度同朋会本部並びに各事業所の二次補正予算について
- ・令和6年度同朋会各事業所の事業計画案・予算案について
- ・令和5年度第3回評議員会(3月期)の招集について
- ・同朋会諸規程の変更について
- ・施設長の任免について
- ・同朋会永年勤続表彰者の決定について
- ・その他報告事項

職務執行状況報告について

椿野苑高圧受電設備改修工事の業者決定について

伊自良苑グループホームの外装改修工事の業者決定について

美山荘高圧受電設備改修工事の業者決定について

かようこども園に係る共同募金の配分申請について

行政指導監査結果報告について

(3) 評議員会

令和5年6月10日(土) 令和5年度定時評議員会

- ・令和4年度同朋会本部並びに各事業所の事業報告について
- ・令和4年度同朋会財産目録について
- ・令和4年度同朋会本部並びに各事業所の決算について

- ・監事監査報告について
- ・任期満了に伴う理事・監事の選任について
- ・定款変更について
- ・美山荘の冷暖房設備の大型修繕の業者決定について
- ・高富保育園の給食委託業者の業者決定について
- ・同朋会諸規程の変更について
- ・社会福祉充実残額シートについて
- ・その他報告事項等

令和5年11月11日（土）第2回評議員会

- ・令和5年度同朋会各事業所の一次補正予算案について
- ・椿野苑の空調設備老朽化に伴う大規模修繕工事の業者決定について
- ・同朋会諸規程の改定について
- ・その他報告事項
 - 職務執行状況報告について
 - かがしまこども園の防水改修工事の業者決定について
 - 旧花咲みクラブの住宅改修工事の業者決定について
 - かがしまこども園・かようこども園の実地指導結果報告について等

令和6年3月30日（土）第3回評議員会

- ・令和5年度同朋会本部並びに各事業所の二次補正予算について
- ・令和6年度同朋会各事業所の事業計画案・予算案について
- ・同朋会諸規程の変更について
- ・施設長の任免について
- ・同朋会永年勤続表彰者の決定について
- ・その他報告事項
 - 職務執行状況報告について
 - 椿野苑高圧受電設備改修工事の業者決定について
 - 伊自良苑グループホームの外装改修工事の業者決定について
 - 美山荘高圧受電設備改修工事の業者決定について
 - かようこども園に係る共同募金の配分申請について
 - 行政指導監査結果報告について

2 事業の実施

- (1) 経営分析会議の開催
毎月1回各事業所間の連携・情報共有の目的で理事長以下幹部職員、委託している社会労務士で構成し、予算執行や運営上の課題等の改善策、諸規程の見直し等人材確保も含めての検討等を行った。
- (2) 中長期計画会議
隔月に1回法人事務局、各事業所の施設長、社会労務士で構成し、中長期にわたる計画を立て、法人経営のビジョン・戦略を立て検討し合った。
- (3) 人材の確保及び育成対策
法人5委員会（職員育成・人事考課・福利厚生・虐待防止・懲罰）はZoomで定期的開催した。
- (4) 福祉サービス活動の透明化の推進
第三者で構成するサービス点検調整委員会はコロナの関係もあり、書面会議の方式で年数回行った。
- (5) 後援会との連携
毎年、年2回後援会活動として桜山周辺の環境整備事業を実施されていたが、会員各位の高齢化に伴い草刈り等は業者に委託することになった。
6月には軽作業のあと会員同士の情報交換の場を設け、その後総会を開催した。
- (6) 登記事項
令和5年6月資産の変更登記と理事長の変更登記を行った。

令和5年度 障害者支援施設 伊自良苑 事業報告

施設入所支援事業・生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業

1. 総括

- (1) 新型コロナウイルス感染症が5類と移行されたが、様々な活動を実施する上では感染予防対策を講じて事業展開を図った。
- 施設外からのウイルスの持込みを警戒し、健康管理や手指消毒、マスク着用等の対策を図りサービス提供に努めた。
 - 日頃の生活や活動において活動グループの規模縮小や他グループとの接触の低減を図った体制を整え支援を図った。
 - 通所事業は、入所者と別棟で稼働したことにより施設の感染に左右されずに安定的に年間通常稼働を図ることができた。
 - 自宅帰省、面会は、感染対策の協力を求めながら実施を図り、また実施後に検査キットで確認をしながら感染予防を図った。
 - 地域の行事等が再開されたが感染リスク等を鑑み参加を見合わせた。その分楽しみとなる催し物を各部署で企画実施した。
 - 短期入所や日中一時のニーズには、日頃から健康管理をしている通所者は受入れたが、施設外ニーズは受入れを控えた。
 - 保育実習では、感染対策の協力を求めながら受入れた。実施中は、健康管理から実施期間や内容の調整を図った。
 - 外部研修や会議については、Web上での実施は元より、対面形式のものも感染対策を講じながら積極的に参加を図った。
- (2) 新型コロナの感染に関しては、5月、8月に別の生活棟で1名ずつ罹患。8月下旬には過去に感染したことがない生活棟で利用者4名と職員4名が罹患した。1月には、男性棟にて利用者2名と職員1名、女性棟にて利用者10名と職員5名が罹患。いずれも罹患された利用者は施設内での療養対応を行った。対応職員の家族感染を防ぐ観点から宿泊場の提供を図った。通所部門においては、6月に利用者4名、職員1名が罹患し、2日間稼働を休止した。

2. 年間利用者数

〈施設入所支援事業及び生活介護事業 現員数及び利用実績数、稼働日数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
施設入所利用現員	68	68	68	68	67	68	70	70	70	70	70	70	68.9
生活介護利用現員	79	79	79	79	77	77	77	77	78	78	78	78	78.0
生活介護稼働日数	20	20	22	20	21	20	21	20	20	19	19	20	20.2

〈短期入所事業及び日中一時支援事業 延利用者数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期入所事業	2	16	26	23	18	18	6	6	6	4	7	11	143
日中一時支援事業	0	0	1	1	0	1	0	7	0	0	1	0	11

3. 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
入所利用者				2	26	42	70	5.57
通所利用者				1	1	6	8	5.63
合計				3	27	48	78	5.58

4. 年齢別利用者状況

		～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計	平均年齢
入所	男		3	17	16	21	2		59	44.1
	女			2	5	4			11	46.5
通所	男		1	3	3				7	37.1
	女			1					1	31.0
合計		0	4	23	24	25	2	0	78	43.7

5. 職種別職員数

	施設長	事務長	生活支援	看護師	栄養士	医師
常勤	1	1	47	2	2	
パート等			9	1		
嘱託						2
常勤換算計	1	1	50.8	2.6	2	0.1

* サービス管理責任者…主任生活支援員, 副主任生活支援員の計2名を配置

6. 年間行事等状況

月	行事等内容(実施日)
4月	誕生会(23)
5月	集団レントゲン検診(11)、誕生会(27)
6月	誕生会(24)
7月	誕生会(29)
8月	夏祭り(12)、誕生会(26)
9月	誕生会(30)
10月	伊自良苑・大森作業棟総合防災訓練(12)、集団歯科検診(19)、誕生会(28)
11月	インフルエンザ予防接種(8)、誕生会(25)
12月	ユニット別クリスマス会(14、20、22)、誕生会(24)
1月	誕生会(28)
2月	誕生会(24)
3月	伊自良苑総合防災訓練(22)、大森作業棟総合防災訓練(29)、誕生会(30)

7. 職員研修実施状況

- 6/4～心のケア支援スタッフ養成講座(オンライン)
7/1～2、9/3、10/7～8、11/12、12/10 9名
- 5/19～実践事例を通して学ぶ自閉症セミナー(オンライン)
6/20、7/6、8/18、9/7、10/26、1/26 2名
- 9/28 支援協会テーマ別研修会(オンライン) 11名
- 10/5,6 東海地区知的障害関係職員等研究大会 2名
- 10/19 苑外研修報告会 14名
- 11/6,7 全国知的障害福祉関係職員等研究大会山梨大会 3名
- 12/6 苑内研修会 職員の心のケア研修会 15名
- 12/11 全日本自閉症支援者協会神奈川大会 2名
- 1/17,18 障害者支援施設部会全国大会沖縄大会 2名
- 2/6 行動障がい支援Start upセミナー 1名
- 2/9、3/8 岐阜県障害者虐待防止・権利擁護研修 2名
- 2/21 支援協会・サポート協会合同権利擁護・人権倫理研修会 3名
法人職員階層別研修会
・初任者研修会(5/13 1名) ・ステップアップ研修Ⅰ(6/3 2名)
・ステップアップ研修Ⅱ(8/5、9/2 3名) ・ステップアップ研修Ⅲ(10/14 1名)
・幹部・現場管理者研修(2/24 3名) ・事例研究活動・発表会(11/25 6名)

8. 会議など実施状況

運営委員会	年間12回	研修委員会	年間6回
職員会	年間6回	保健・給食委員会	年間5回
各ユニット会議	年間8～12回	防災対策委員会	年間5回
行事部会	年間8回	権利擁護・虐待防止委員会	年間7回
衛生委員会	年間8回	身体拘束廃止委員会	年間7回
		安全運転管理部会	年間3回

令和5年度 障害者総合生活支援センタークロス 事業報告

それぞれの事業内容に即して地域の障害児者やその家族、関係支援機関等に対して、地域生活に関するニーズに応え、相談支援や生活支援、就労支援等を実施した。

【岐阜圏域委託相談支援事業】

岐阜圏域の4市町の委託を受けて事業を実施してきた。地域の様々な相談に応じて必要に応じた支援を図ったり、地域自立支援協議会やケース会議の主催・参加、福祉サービスの情報提供等を行った。

■相談支援実績

市町	羽島市	瑞穂市	北方町	岐南町					合計
延件数	0	0	2	1					3

■活動実績・研修

- ・自立支援協議会(羽島市、瑞穂市、岐南町、北方町) 計 3回
- ・相談支援に関する研修会参加 計 10回

【指定特定相談支援事業(計画相談)】

障害福祉サービスの新規利用、更新手続きの際に、利用者のニーズを確認してサービス等利用計画を作成した。その計画に基づいて市町がサービス利用量等を支給決定される。計画を作成した利用者には、サービスの利用状況についてモニタリングを実施した。

■利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規・更新	13	11	8	6	15	11	7	13	8	12	10	6	120
モニタリング	53	54	65	49	62	55	60	52	68	43	62	57	680
月件数	66	65	73	55	77	66	67	65	76	55	72	63	800

【岐阜市基幹相談支援サテライト事業】

障がいのある方、その家族及びその関係者がより相談しやすい環境や相談支援の質の向上を目的として、地域において中核的な総合相談窓口となる基幹相談支援サテライトを市内に4ヶ所設置している。総合的、専門的な窓口として初期相談に対応したり、地域の相談支援体制の強化を目的とした岐阜市総合支援協議会や学習会の運営を行っている。

■実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
個別相談	54	60	60	55	66	61	55	62	68	58	57	63	719
関係機関との連携	8	21	9	18	42	26	11	10	26	5	5	6	187
月件数	62	81	69	73	108	87	66	72	94	63	62	69	906

令和5年度 同朋会ケアホーム・ホーム伊自良 事業報告

指定共同生活援助(介護サービス包括型)事業所

1. 総括

- ・同朋会ケアホームでは5つの共同生活住居(マ'ン仲田、ウ'ング伊自良、サ'ハイツ大森A棟、サ'ハイツ大森B棟、ホーム伊自良)を一つの事業所として運営し、個別支援計画に基づいて夫々のニーズに応えながら、より豊かな人生の歩みを目指して地域生活の充実を図った。また、4つの共同生活住居(マ'ン仲田、ウ'ング伊自良、サ'ハイツ大森A棟、サ'ハイツ大森B棟)の夜間支援としてウ'ング伊自良に宿直者を配置して包括的な支援を図った。
- ・新たなニーズへの支援として、体験入所の受入れを11月、2月、3月に行った。
- ・ホーム伊自良では宿直者を1名配置し、重度で行動障害に陥りやすい方の安心できる生活環境を整えながら、より豊かな人生の歩みを目指して24時間支援を図った。
- ・サ'ハイツ大森B棟では外部事業所に通う方について当該事業所と連携を取りながら支援を図った。
- ・各種感染症対策として、環境整備・健康チェックを含め、衛生面での意識向上に向けた支援を継続してきたが、9月に8名の方が新型コロナウイルス感染症に罹患された。
- ・ウ'ング伊自良において経年劣化していた外装の修繕工事を実施した。

2. 月別利用者現員状況

事業所名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
同朋会ケアホーム	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

3. 年齢別利用状況

事業所名	性別	～19	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～	計
同朋会ケアホーム	男	0	0	0	0	0	4	4	1	1	4	4	18

R6.3.31現在

4. 障害支援区分

事業所名	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
同朋会ケアホーム	0	2	8	4	1	3

R6.3.31現在

5. 行事等状況

- ・余暇においては社会情勢、活動内容を十分検討し、感染症対策を施しながら外出や地域のイベントに参加した。
- ・掛かり付け医との連携を図りながら、治療、健康管理や予防の取り組みへの支援を図った。

6. 会議研修等状況

- | | |
|---|--|
| <p>【事業所内会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム担当者会議 月1回 ・グループホーム世話人会議 随時 ・グループホーム入居者ミーティング 随時 ・バックアップ事業所(伊自良苑)連携会議 月1回 | <p>【事業所外会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県知的障害者支援協会GH分科会 年1回 |
|---|--|

- 【事業所内研修】
- ・バックアップ事業所(伊自良苑)の研修会に参加(苑外研修発表会、心のケア研修会)。
 - ・岐阜県障害者虐待防止・権利擁護研修の受講。

7. 職員体制

管理者(1) サービス管理責任者(1) 生活支援員(4) 世話人(6)

令和5年度 東濃自閉症援助センター「かさほら」 事業報告書

実施事業の概要

1. 全般

- 自閉症に特化した生活介護の事業所として、個別支援プログラムに基づいてそれぞれの自立に向けた取り組みを行った。
 - ・日中活動として作業を中心に取り組み、落ち着いて活動に取り組めるように作業工程の工夫と活動環境の整備を行った。
 - ・行事や余暇の活動を中心に、活動の中に選択場面を組み込みながら利用者の思いが反映される取り組みの計画や実践に努めた。
 - ・個別支援計画のモニタリングの時期に保護者面談を行った。来所できない場合は電話にて行った。
 - ・利用者対象のにこりほっと報告を行った。にこりほっとの木にカードを貼ったり、称えあう時間を共有した。
 - ・特別支援学校より現場実習生の受け入れを行った(1名)。
 - ・中京学院大学短期大学より保育実習生の受け入れを行った(2名)。
 - ・3月末日に利用者が1名退所した。

- 新型コロナウイルス感染症は5月より5類に移行し、巷の感染防止策は徐々に緩和されてきたが、従来通りの感染防止策を講じて感染状況を注視しながら安全安心な活動環境の提供に努めた。
 - ・日々の健康管理表の記録や手洗い、手指の消毒、マスクの着用等の徹底を保護者と連携して行った。
 - ・利用者が楽しみにしているグループごとの外出や作業お疲れさま会等は、規模や企画を工夫して行った。
 - ・今年度は8月から10月かけて13名(利用者6、職員7)が罹患した。状況に応じて事業所を休業することによって感染拡大を防いだ(休業期間は年間延10日)。
- グループホームの新規整備事業については、11月に地元説明会を催し協議したが、利用者が安心安全に生活を営むにはリスクが大きいと判断し、改めて候補地を定めることとした。

2. 地域別利用者数

多治見市	土岐市	瑞浪市	可児市	美濃加茂市	岐阜市	計
11	7	3	3	1	1	26

3. 障害支援区分

区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0	1	3	12	10	26

平均区分 5.2

4. 年間月別延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
女性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
延利用者数	539	531	553	542	507	409	512	526	535	490	492	524	6,160

5. 年齢別利用者状況

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～	計	平均
男性	1	13	5	1	2	22	31.5
女性	0	4	0	0	0	4	22.2
計	1	17	5	1	2	26	30.0

(令和3年3月31日現在)

6. 職種別職員数(常勤換算)

	「かさほら」		ケアホーム		計
	施設長	サビ管	生活支援員	看護師	
常勤	1	1	6	2	10
パート等			5(4.1)	2(1.1)	10(6.3)
合計	1	1	11(10.1)	2(1.1)	20(16.3)

7. 年間主要行事

- ・花見・集合写真(4月)
- ・七夕会(7月)
- ・内科検診(9月2日～10月2日)
- ・巡回歯科健診(12月27日)
- ・避難訓練(5月、9月、1月:センター)(7月、11月、3月:ケアホーム)
- ・作業お疲れさま会(8月、12月)
- ・作業班別外出(月1回)

8. 会議研修等

(会議)

- ・職員会議(月1回)
- ・作業班会議(月1回)
- ・人権擁護委員会(年間10回)
- ・研修委員会(年間10回)
- ・行事委員会(年間10回)
- ・広報委員会(年5回)
- ・班長会(年2回)
- ・ケアホーム会議(月1回)

- (研修) 5/13 法人初任者研修 1名 11/25 法人事例研究・活動発表会 6名
- 6/3 法人ステップアップ研修 1名 12/4、1/17 サービス管理責任者更新研修 1名
- 7/18、19 強度行動障害支援者研修(基礎) 1名 1/30 岐阜県虐待防止・権利擁護研修 1名
- 8/5 法人ステップアップ研修Ⅱ 1名 2月2日 サービス管理責任者実践研修 1名
- 10/14 法人ステップアップ研修Ⅲ② 1名 2/21 障害者の権利擁護・人権倫理を考える研修会 1名
- 11/7～全6回 中核的人材養成研修～3月まで 1名
- 11/10 支援協会初任者研修 1名 3/7 口腔健康管理研修 3名
- 11/13、14 強度行動障害支援者研修(実践) 2名 3/12、13 サービス管理責任者実践研修 演習 1名

令和5年度 同朋会東濃ケアホーム 事業報告書

実施事業の概要

1. 全般

- 新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、自閉症に特化した共同生活援助(介護サービス包括型)事業を実施した。
 - ・生活支援員を2名配置し、個別支援プログラムに沿った生活支援や社会活動の支援、休日の支援を行った。帰宅時の手指の消毒や手洗い、うがい、マスクの交換着用等、感染防止の徹底と意識化を図った。
 - ・地域の公園や外食等に出かける機会が少しずつ増えてきた。感染防止に留意しながら活動範囲を広げている。
 - ・8月から10月にかけて、センター「かさほら」で陽性者が確認されたため、体験利用を中止することがあったが、居住者が罹患することはなかった。
- 体験利用者の受け入れを随時行った(延205名)。

2. 地域別利用者の状況

	多治見市	可児市	美濃加茂市	岐阜市	土岐市	瑞浪市	計
入居	2	1	1	1			5
体験利用	7	1	0	0	3	1	12

3. 障害支援区分

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
入居	0	1	0	2	2	5
体験利用	0	0	1	6	5	12

4. 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
体験利用者	8	6	8	6	5	4	7	7	8	6	6	7	78
延利用者数	171	154	163	158	152	154	172	157	165	154	147	166	1,913

平均利用者数 5.2人

5. 会議研修等

センター「かさほら」と合同で行った。

令和5年度 ワークス伊自良 事業報告書(案)

障害者自立支援法による障害福祉サービス事業の実施

- (1) 就労継続支援B型事業所として以下の事業を実施した。
通常の事業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の提供を通じて、その知識及び能力の向上のため必要な訓練等の便宜を供与した。
- (2) コロナウィルス感染に伴う対策を継続しながら工賃向上に向けた取り組みを各部門で行ったが依然として大きな影響を受けた。また不安定な世界情勢に起因する光水熱の高騰や物価の上昇の影響も大きく収益減となった。
 - ・企業から委託された商品生産部門では、より企業での労働環境に近い生産体制を整え、利用者の労働に応じた工賃を支給できる体制作りを行ったが、コロナ禍以前の受注量には届かず厳しい状況が続いた。
 - ・食品部門(パン・スイーツ部門)では原材料費の高騰が続く中、価格変更や原材料の見直しを図る等行い物価高騰の影響を最小限に抑えることができた。
 - ・レインボーハウスにおいては定休日を土日に変更し年間営業日は50日減ったが前年度と同等の売上があり利用者工賃の確保に繋がった。
 - ・ブルーベリー栽培農園の運営及び、果実の収穫販売や商品化の研鑽に努め、事業運営確立に取り組んだ。GW頃収穫間近のビニールハウスが猿の被害にあい損害を受けたが例年になく豊作であったため収益としての影響は最小限に留まった。農場に電気柵を設置し害獣対策を行った。
- (3) 地域への情宣と交流事業としてのワークス夏祭り、クリスマス会は新型感染症予防の観点から実施を見送ったが、事業所単独でのクリスマス会は実施し利用者さんの好評を得た。
- (4) 昼食外出の実施
年度末(3月)に日頃の慰労と労働意欲の向上に繋がるよう日帰り昼食外出(中津川)を実施した。

1. 地域別利用者数

岐阜市	山県市	関市	各務原市	大垣市	本巣市	計
21	10	1	1	1	1	35

2. 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	28	28	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	326
女性	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	8	8	89
計	36	36	35	34	34	34	34	34	34	34	35	35	415

※実習者の受け入れ 桜美寮1名

3. 年齢別利用者数

〔令和6年03月31日現在〕

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	計	平均年齢
男性	0	2	4	1	8	12	27	56.3
女性	0	1	1	0	2	4	8	53.3
計	0	3	5	1	10	16	35	55.5

4. 支援サービス別利用者数(定員)

就労継続支援B型	40名
----------	-----

5. 事業別利用者数

作業棟(食品関係)	食 品			下 請	
	喫茶レインボー	パン・スイーツ	ブルーベリー・外作業	下 請 け	プラスチック関係
12	1	3	3	11	5

6. 年間主要行事

- ・夏まつり (8月中止)
- ・クリスマス会 (12月)
- ・昼食外出(3月)

7. 会議研修等

(会議)

- ・職員会議
- ・就労支援会議

(研修)

- ・障害者支援関係研修派遣
- ・就労支援関係研修派遣

令和5年度「生活の家桜美寮」事業報告書

1. 総括

- 個別支援プログラムに基づき、集団生活に中であつてもより個々のニーズに対応することを意識し実践した。
- 虐待防止対策委員会を中心に会議やディスカッションの場を通じ、日常の支援における適切な支援を目指す取り組みをした。
- 7,9,11,1,2月、館内感染症が蔓延し、拡大を防ぐことを目的とした日課提供で対応した。
- 感染症対策としてマニュアルの整備に取り組んだ。
- BCPを作成し、災害などの非常時における対応を周知できる体制を整えた。
- 感染症の罹患に配慮しながら、可能な限りの外出支援を行った。
- 法人外の事業所や大学と支援の場で活かせるような情報や意見の交換に取り組んだ。

2. 生活介護・施設入所支援利用状況(延人数)

生活介護定員60・現員53 施設入所支援定員50・現員48

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	入所	958	1,024	997	1,035	1,056	1,001	1,061	995	1,078	1,068	946	1,058	12,277
	通所	132	95	116	111	107	94	114	104	93	58	77	84	1,185
入所支援		1,421	1,456	1,438	1,478	1,505	1,482	1,541	1,470	1,529	1,512	1,320	1,508	17,660
合計		2,511	2,575	2,551	2,624	2,668	2,577	2,716	2,569	2,700	2,638	2,343	2,650	31,122

ショートステイ利用状況(延日数)

ショートステイ定員4

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岐阜市		28	31	32	31	31						3	18	174
														0
														0
														0
合計		28	31	32	31	31	0	0	0	0	0	3	18	174

日中一時支援利用状況(延件数)

※ 契約自治体～岐阜市・山県市・本巣市・瑞穂市・大野町

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岐阜市		1	4	6	5	9	1	9	8	11	2	6	7	69
														0
														0
														0
合計		1	4	6	5	9	1	9	8	11	2	6	7	69

※ 緊急宣言発令期間中や桜美寮独自指標「レベル2」以上時は、ショートステイ・日中一時支援事業は原則停止

3. 年齢別利用者状況

(令和6年3月31日現在)

		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	平均年齢
入所	男	0	2	1	5	9	7	2	2	28	54.7
	女	0	1	1	1	8	3	4	2	20	60.1
通所	男	0	0	2	0	0	0	0	0	2	35.5
	女	0	0	1	1	0	1	0	0	3	47.8
合計		0	3	5	7	17	11	6	4	53	55.2

※ 最年少利用者20歳・最高齢利用者88歳

4. 年間行事等状況

※()内、場所が未記入は桜美寮内で開催

月	行事内容
4月	・ミールラウンド(5日)・血液検査(20・21日)
5月	・検尿&レントゲン(11日)
6月	・一泊旅行(8～9日大阪)
7月	・ミールラウンド(5日)・七夕食事会(9日)・おうびの宿(27日)
8月	・内科検診(17日)
9月	・福祉フェア(8～10日 マーサ21)
10月	・本巣特別支援学校実習(2～6日)・おうびの宿(13日)・日帰り旅行(16日知多)
11月	・インフルエンザ予防接種(1日)・伊自良文化祭(3～5日 伊自良中央公民館)・ランチバイキング(14日都ホテル)
12月	・クリスマス会(24日)
1月	・おうびの宿(17日)・個別懇談(随時)
2月	・おうびの宿(27日)・一斉歯科検診(29日)・個別懇談(随時)
3月	・地域交流共生コンサート(15日花咲ホール)・個別懇談(随時)

定例行事 誕生会(最終木曜日)

5. 会議・研修会等

【会議】

運営委員会	12回	広報委員会	1回	職員会議	10回	フロア会議	17回
研修委員会	2回	食事委員会	12回	支援スタッフ会議	8回	各種係会議	4回
行事委員会	5回	虐待防止対策委員会	7回	BCP策定委員会	2回	感染対策委員会	7回
リーダー会議	1回						

【研修】

■外部研修(抜粋)

リスクマネジメント研修(6/5)	1名
クレーム対応研修(6/16)	1名
人間関係の築き方研修(7/3)	1名
市町村防災力強化研修(7/12)	2名
強度行動障害基礎研修(8/1～2)	1名
福祉の職場改善研修(11/22)	2名
サビ管更新研修(1/10)	1名
権利擁護研修(3/8)	2名

■法人研修

ステップアップ研修②(8/5)	1名
ステップアップ研修③(10/14)	2名
事例研究発表会(11/25)	3名
幹部研修(2/24)	4名

■寮内研修(抜粋)

介護研修(外部講師12/4)	14名
オムツ研修(外部講師3/7)	8名
※毎月1回定例研修会を実施	
※毎月1回グループディスカッションを実施	

6. 職種別職員数

(令和6年3月31日現在)

	施設長	S管理責任者	生活支援員	看護師	栄養士	事務員	業務員	医師		合計
常勤	1	1	21	2	1	0	0	0		26
パート等	0	0	9	0	0	0	1	0		10
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	2		2
合計	1	1	30	2	1	0	1	2	0	38

令和5年度桜美寮デイサービスセンター事業報告書

(1) 総括

- 効果の出せる【個別機能訓練】の取り組み。自宅での困りごとを介護者や本人に聞き取り、自宅を訪問するなどして訓練を実施できた。
- 【BCP】の策定はできたが、訓練等の取り組みができなかった。
- 中重度者の方の思い、願いを聞き取り、個別プログラムの実施ができた。
- 地域拠点としての活動は実施できなかったが、久しぶりに【介護者のつどい】の開催ができた。
- 心身機能に係るアウトカム評価は実施できたが、加算を取るに当たって勉強不足だった。
- 延長利用、もしもの時の宿泊利用が好評を頂いている。
- インカムの導入、新しいソフトの導入など事務作業の効率化が少しずつ実施できている。

(2) 利用状況(予防利用者含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実績人数	673	728	714	688	691	706	692	662	681	435	630	677	7,977
利用実績率(%)	96	94	96	93	92	97	96	96	96	66	94	96	93

(3) 登録人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	比率%
総合事業	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	2%
予防支援 ①	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2%
予防支援 ②	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	4	4	6%
介護度 1	28	31	31	31	31	30	31	29	29	29	30	31	49%
介護度 2	14	13	14	15	15	15	15	16	16	14	13	15	24%
介護度 3	9	9	8	7	6	6	5	5	6	6	4	5	8%
介護度 4	3	4	4	4	4	6	5	3	3	3	3	3	5%
介護度 5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	5%
合計	63	66	66	65	64	65	64	61	62	59	59	63	100%

(4) 1日平均利用人数(予防利用者含む) (定員 30名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
本年度実績	26.9	27	27.5	26.5	25.6	27.2	26.6	25.5	26.2	18.1	25.2	26	25.7

(5) 時間延長利用者 《平成16年4月より開始》 (時間 16:15~18:15)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間延長利用者	229	276	259	272	270	262	223	218	236	142	189	208	2,784
一日平均人数	9.2	10.2	10	10.5	10	10.1	8.6	8.4	9.1	5.9	7.6	8	9.0
夕食利用者	21.4	259	255	253	263	243	206	204	221	133	177	193	2,428
一日平均人数	8.6	9.6	9.8	9.7	9.7	9.3	7.9	7.8	8.5	5.5	7.1	7.4	8.4

(6) 宿泊利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊利用者	3	0	0	0	5	0	1	0	0	2	1	0	12

(7) 地域別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
伊自良地域	30	30	30	30	31	31	31	30	32	30	31	31	367
山県市(伊自良地域以外)	35	37	36	35	35	34	34	34	35	34	32	32	413
岐阜市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	65	67	66	65	66	65	65	64	67	64	63	63	780

(8) 年齢別利用人数(3月)

年齢	~64	65~	70~	75~	80~	85~	90~	95~	100~	合計	平均年齢
人数	0	1	1	10	12	21	13	4	1	63	85.9

(9) 行事及びレクリエーション

行事 毎月実施：誕生会、音楽レクリエーション、墨絵(宮田様)、俳句(鳥澤様)、習字
喫茶

グループ活動(運動・学習・ゲーム)

- 4月 機能訓練外出(四国山公園)
- 5月 子供の日(ゲーム)、おやつ作り(白玉黒蜜かけ)、買い物外出(ビッグ他)
- 6月 おやつ作り(ミニピザ)、訓練外出(畜産センター)
- 7月 セタ会(ゲーム)、おやつ作り(プリンアラモード)
- 8月 夏まつり(3日間)
- 9月 敬老会(3日間)
- 10月 運動会(2日間)、夢外出(各務原イオン)
- 11月 伊自良文化祭見学、訓練外出(岐阜公園)
- 12月 忘年会(3日間)、クリスマス会(ケーキ作り)、三味線とマジックショー、100歳誕生会
- 1月 新年会(3日間)、夢外出(馬喰一代)
- 2月 節分(ゲーム)、手作りおやつ(チョコ蒸しパン)、バレンタインデー(手作りチョコ)
- 3月 ひな祭り会(ゲーム)、ホワイトデー、夢外出(墨俣一夜城)、手作りおやつ(牡丹餅)

ボランティア

- ・宮田様(墨絵)
- ・鳥澤様(俳句)
- ・ひとりとひとり様(三味線とマジックショー)

(10) 研修 《法人・外部研修》 《施設内研修》

9月13日	2024年度介護保険制度改正	4月28日	倫理及び法令遵守
10月6日	すぐに身につく記録研修	5月30日	通所介護計画書について
10月11日	失敗を次につなげるスキルアップ研修	6月29日	災害(地震、土砂災害、火災)対策について
10月13日	認知症の方への介護技術	7月28日	認知症対応について
10月20日	スピーチロック回避研修	8月30日	感染症について
11月14日	虐待防止に向けた早期発見と…	9月29日	プライバシー保護と身体拘束
11月16日	元気な職場メンタルヘルス	10月30日	虐待防止について
11月22日	みんながいいき職場改善研修	11月29日	介護技術向上について
11月25日	事例研究活動・発表会	12月28日	介護職の接遇について
12月8日	介護職のための薬の知識	1月	コロナ感染拡大により中止
2月24日	幹部職員、現場管理者研修	2月28日	令和6年度制度改正について
		3月28日	来年度の目標と業務担当

- (11) 会議
 デイ会議 毎月1回 ケア会議 随時
 運営会議 // サービス担当者会議 随時

- (12) コロナ関連
 ・1/17~職員6名陽性利用者様4名陽性のため、2週間の間極力利用者様を減らしての営業とした。

- (13) その他
 ・6/1~食費値上げ実施。
 ・6/17、介護者のつどい開催。介護者19名、ケアマネ3名、合計22名参加。
 ・6/20、県の運営指導。
 ・8/16、大雨、洪水警報発令のため縮小営業。
 ・11/21、入浴中の火事を想定した避難訓練実施。

令和5年度特別養護老人ホーム椿野苑事業報告書

〔定員～従来型特養60名・地域密着型(ユニット)特養20名・ショートステイ20名〕

①事業全般

- ・ 従来型特養・デイサービスの入れ替え工事をした。10月から4月末までの工事期間は石油ファンヒーターを使用。工事期間中は、灯油をタンクに入れる作業や安全の確保などを考慮し面会の制限をして対応した。
- ・ 年々利用者の滞在日数が減少している。昨年は、44名が退所し、44名が入所した。その内31名が施設で最期を迎えられた。
入所待機者が少ない現状の中、関係機関等と上手く連携を取りながら、ロングショート利用の確保に努めロングショートか
らスムーズ入所できるよう、施設全体で取り組み稼働率アップに努めた。

②主な年間行事

4月 お花見弁当	7月 花火鑑賞	10月 うなぎ祭り	1月 書初め 鏡開き
5月 運動会	8月 花火大会	11月 フルーツバイキング	2月 100歳の誕生日会
6月 流しそうめん	9月 焼き芋	12月 デコレーションケーキ作り	3月 フルーチェ

③月別入居利用者の状況(従来型特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	17	17	16	17	17	18	19	18	20	23	20	20	222
要介護4	11	12	13	13	15	19	24	25	26	28	25	24	235
要介護5	14	14	15	15	16	16	16	16	17	14	16	17	186
計	42	43	44	45	48	53	59	59	63	65	61	61	643

⑦職員配置

	施設長	事務長	事務員	管理栄養士	施設ケアマネ	介護職員	主任生活相談員	看護師	配置医師	計
正規	1	1	1	1	2(兼務)	37	1(兼務)	3		44
非正規						5		4	1	10

⑧会議関係(優先入所検討委員会～随時・地域密着型特養推進会議～年4回・以外の会議は1回/月)

運営委員会	ケース会議	行事委員会	研修委員会
職員会	看護師会議	リスクマネジメント委員会	感染症予防委員会
優先入所検討委員会	褥瘡予防委員会	身体拘束廃止委員会	看取り介護委員会
地域密着特養推進会議	排泄介護検討委員会	優しい介護委員会	口腔ケア委員会

⑨研修会関係

- 5月 法人初任者研修
- 6月 法人ステップアップ①研修
- 6月 看護協会主催の研修
- 6月 認知症介護実践者研修①
- 6月 認知症介護実践リーダー研修
- 7月 認知症介護実践者研修②
- 7月 床ずれ対策セミナー
- 8月 法人ステップアップ②研修
- 8月 成年後見制度理解促進研修
- 9月 救急看護研修
- 9月 成年後見制度研修
- 9月 中堅者研修
- 10月 認知症介護実践者研修③
- 11月 法人ステップアップ③研修
- 11月 高齢者施設での感染対策研修
- 11月 高齢者のスキンケア研修
- 12月 福祉サービス苦情解決研修
- 12月 介護人材育成研修
- 1月 法人事例研究発表会
- 2月 法人現場リーダー・幹部研修
- 2月 BCP策定研修

④月別入居利用者の状況(地域密着型特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	14
要介護3	5	4	4	4	4	3	3	4	4	5	5	5	50
要介護4	4	7	8	9	9	10	10	10	10	9	7	6	99
要介護5	4	4	4	5	5	5	5	6	7	7	8	9	69
計	15	17	18	20	20	20	20	20	21	21	20	20	232

《平均介護度4》

⑤年齢別入居利用者数

	60～	70～	80～	90～	100～	合計	平均年齢
男性	1	1	7	7	0	16	90歳
女性	1	3	25	33	2	64	

⑥ショートステイ月別利用者数(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
要介護1	38	49	61	92	54	46	49	81	75	107	79	83	814
要介護2	101	85	96	86	72	99	140	151	109	99	105	78	1221
要介護3	184	203	157	139	105	84	93	142	202	224	218	294	2045
要介護4	238	211	164	200	277	240	272	170	127	139	150	178	2366
要介護5	33	49	107	41	83	57	56	65	60	14	32	18	615
計	594	597	585	558	591	526	615	609	573	583	584	651	7066

令和5年度椿野苑デイサービスセンター事業報告書

① 総括

・今年度は『選ばれるデイサービスを目指して』を目標に掲げて取り組みました。利用者との時間を作りコミュニケーションをより多くとることに重点を置き、利用者が考えていることや思っていることを聞き取り、活動に活かしていけたらと考えて行いました。小さなことから取り組み、満足を重ねて「また来たい」と思ってもらえる様に働き掛けをしました。声掛け一つから始まり、悩みを聞いたり、好きな歌を聞いてみたりと、利用者に向き合う時間を大切にしてきました。まだコロナ過ではありますが、会話が増えて、笑顔も多くなってきたと思います。また実際に「また来るでね」と笑顔で話し掛けてもらえることに職員も嬉しく感じられる一年でした。

・行事等に関して、大きな行事も計画し、以前の様な活気ある活動も増やしていくことが出来ました。また新たな試みとして「社会的な関わりの場面の提供」として、施設内通貨を利用出来る様にキッチンカーによる販売機会などを企画し、社会的な関わりも体験できる様にしています。

・1月から2月にかけて、デイサービスに置いてコロナが流行してしまったことは残念に思いますが、営業を止めてしまう様な事態にはならず済んだことは良かったと思います。まだコロナの流行も懸念されるので引き続き感染対策を徹底して対応していきたいと思っております。

② 介護度別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	6	9	9	4	5	4	4	5	8	7	9	8	78
要支援1	10	12	13	7	5	4	4	5	4	3	7	8	82
要介護2	49	54	53	53	55	43	42	44	48	35	38	40	554
要介護1	164	206	184	204	219	174	214	237	237	220	229	232	2520
要介護2	162	178	168	145	155	194	186	184	217	180	174	206	2149
要介護3	82	80	77	54	60	52	52	75	78	70	83	98	861
要介護4	51	51	53	71	84	65	57	65	60	58	54	52	721
要介護5	34	26	28	22	19	43	43	43	42	35	23	12	370
合計	558	616	585	560	602	579	602	658	694	608	617	656	7335
男	172	204	200	193	212	200	180	205	221	199	206	211	2403
女	386	412	385	367	390	379	422	452	466	397	401	445	4902

③ 介護度別登録人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	19
要支援1	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	2	2	21
要支援2	7	7	7	8	8	7	6	7	7	5	7	6	82
要介護1	17	22	21	23	23	21	24	23	25	24	24	23	270
要介護2	15	17	15	14	14	18	17	19	20	20	20	19	208
要介護3	6	6	5	5	4	3	4	6	6	6	9	9	69
要介護4	4	3	4	6	6	6	4	6	5	5	5	4	58
要介護5	4	4	3	3	3	4	4	5	4	4	1	1	40
合計	58	64	60	62	60	61	61	68	70	67	70	66	767

平均介護度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1.8	1.7	1.7	1.8	1.8	1.9	1.8	1.9	1.8	1.9	1.7	1.7	1.8

一日平均利用者数(定員30名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1日平均
22.4	22.8	22.5	21.6	22.2	22.3	23	25.3	26.5	24.8	24.3	26.2	23.7

個別機能訓練 平均利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1日平均
20.5	20.9	21	20.4	20.2	21.4	22.7	23.9	24.9	23.5	21.9	23.8	22.1

④ 年齢別登録人数(R6/3現在)

	59歳以下	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
男性	0	1	3	16	4	0	24
女性	0	0	2	18	24	0	44
計	0	1	5	34	28	0	68

男性平均年齢 80.63歳

女性平均年齢 88.98歳

最高年齢者 99歳

最小年齢者 64歳

全体平均年齢 87.67 歳

⑤ 地域別利用者数(R4/3現在)

大桑	15
伊佐美	9
美山	9
富岡	16
高富	14
梅原	1
椎倉	1
伊自良	3
岐阜市	0
その他	0
計	68

⑥ 年間行事

4月 桜見お茶会
 5月 喫茶『懐かし屋』おやき作り
 6月 避難訓練
 7月 冷やしそうめん
 8月 スイカ割り
 9月 敬老会
 10月 運動会
 11月 キッチンカー(パフェ作り)
 12月 クリスマス忘年会
 1月 新年会
 2月 節分会
 3月 花見弁当

【レクリエーション活動】
 各種レク
 季節事の創作
 誕生会
 おやつ作り
 体操
 防災訓練

⑦ 会議

デイ会議 月1回
 職員会議 月1回
 各委員会 月1回

⑧ 主な出張・研修関係

法人初任者研修会
 法人ステップ研修会
 法人リーダー研修会
 法人事例研究発表会

※毎月 お話しピーチクさん
 ※ハーモニカ演奏(不定期)
 ※毎月第3水曜日 園芸クラブ
 ※サロン地域交流(不定期)

新型コロナウイルス感染予防の為全て中止

令和5年度 同朋会在宅介護支援センター 事業報告書

同朋会在宅介護支援センター

1. 要介護老人・要介護認定非該当者および介護者からの相談事業。

2. 介護保険要支援者・要介護者を対象とする特定事業所Ⅱ算定事業所としての中立公正で適切なケアプラン作成、モニタリング等の居宅介護支援事業の実施。

利用者情報及び留意事項伝達等を目的とした会議を週1回開催、24時間連絡体制の確保、居宅介護支援事業所の必須研修の受講や個人研修の実施、困難事例の受け入れ等、特定事業所Ⅱを算定している事業所として、自己研鑽と法令順守に努めた。

コロナ禍につき、サービス担当者会議やモニタリングが感染予防の為に積極的に実施出来ない状況が続いているが、短時間での訪問や本人や家族、サービス事業所等との通信機器を用いた情報収集、状況改善に向けた取り組みを継続して行い、御本人の生活第一に考えた支援の実施に取り組んだ。

高齢者虐待や権利擁護等に関わる問題が発生した時は、地域包括支援センターや関係機関と連携して対応することができた。

次年度も特定事業所Ⅰを算定を目標として取り組んでいく

(算定要件の一つは要介護3～5で40%以上ある事につき、家庭での介護体制が脆弱な現状ではあるが、重度ねたきり者や重度認知症高齢者の在宅介護に向けての取り組みや連携が重要と思われる)

ケアプラン作成件数・・・1700件／年、(昨年1729件で29件減)

3. 山口市地域包括支援センターからの介護予防プラン作成委託。・・・495件／年(昨年比93件増)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	148	155	150	144	147	154	162	152	160	157	153	154	1836
介護予防	42	41	40	42	39	39	39	40	42	41	41	45	491
合計	190	196	190	186	186	193	201	192	202	198	194	199	2327

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	37
要支援①	14	15	14	14	13	11	12	12	12	12	12	14	155
要支援②	25	23	23	25	23	25	24	25	26	26	26	28	299
要介護1	55	60	59	55	59	56	62	60	67	70	66	64	733
要介護2	45	43	45	41	42	43	46	43	44	42	40	42	516
要介護3	25	23	22	25	20	22	23	25	26	24	27	28	290
要介護4	13	19	16	15	18	23	22	15	14	13	14	14	196
要介護5	10	10	8	8	8	10	9	9	9	8	6	6	101
合計	190	196	190	186	186	193	201	192	202	198	194	199	2327

加算名目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
400点 特定事業所加算	148	155	150	144	147	154	162	152	160	157	153	154	1836
300点 初回加算	10	7	4	6	8	6	15	8	8	6	14	14	106
200点 情報提供加算Ⅰ	2	3	6	4	4	4	8	5	4	2	3	2	47
100点 情報提供加算Ⅱ				1		1	1			1			4
300点 旧退院退所加算													0
450点 新退院退所Ⅰイ								1		1	1		3
600点 新退院退所Ⅱイ				1	1	1							3
600点 新退院退所Ⅰロ			1				2		1				4
750点 新退院退所Ⅱロ									2	1			3
900点 新退院退所Ⅲ													0

4. 山口市からの委託による介護認定訪問調査実施。・・・77件／年(昨年比16件減)
4年更新になり今後は減少傾向と想定。

5. 介護支援専門員実務研修見学実習生の受け入れ
特定事業所Ⅱ算定事業所として、7月に介護支援専門員実務研修見学実習受入

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3500円 認定調査	8	8	6	6	6	7	6	7	6	6	6	12	84
4000円 実習受入	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

6. 山口市ケアプラン支援協働事業 (自立支援に向けたスーパービジョン)
当事業所は主任ケアマネを6人中5人取得しているため、今後もスーパーバイザーとして活躍していく。

7. 山口市介護予防地域ケア会議
(介護予防で複数のサービスを利用されている方のプランを市が2事例を条件抽出)
今年度は当事業所での対象者いなかった。

8. 会議研修等参加状況
会議
同朋会在宅介護支援センター情報伝達・連携会議 週1回 (6名全員)

苑外研修 (個人研修)
・見学実習生指導者研修
・成年後見制度に関する講演会
・介護報酬改定読み解き研修
・介護サービス質の向上研修会
・岐阜県居宅介護支援事業協議会 秋季研修会
・岐阜県居宅介護支援事業協議会 相談援助、ケアマネジメント、給付管理研修
・介護支援専門員研修2(更新研修)
・主任介護支援専門員更新研修

■苑内外の研修で下記の居宅介護支援事業所の必須研修を受講するよう努めた。

①認知症及び認知症ケアに関する研修(通年職員会)

②プライバシーの保護の取組に関する研修

③倫理及び法令順守に関する研修

④高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修

令和5年度人材育成・確保に関する事業の事業報告

(事業名)

人材育成・確保に関する事業

(事業の目的)

福祉人材の事業所においては、慢性的な人材不足がますます厳しくなっているのが現状であります。
このことを解決する方策として、介護福祉士の資格取得を目指す外国人が直接又は、日本語学校を通じて介護福祉士養成施設に留学するケースが見込まれることから中部学院大学、及び中部学院大学短期学部と連携して就学に関わる費用全般の支援を行うことを目的とする。

(事業の概要)

事業所連携型外国人留学生受入れ事業《B型》

<目的>

- * アジアの国々の共通課題である高齢化対策、介護・福祉人材の育成を通して貢献すること。
- * 外国人留学生の日本での就学や資格取得、及び卒業後の就労をサポートし、外国人就業者としての活躍を支援すること。

<業務分担と連携事項>

- * 事業所は当事業に参加する留学生の留学手続き、渡航準備等のサポート。
- * 事業所は来日した留学生の日本国内における経済的支援、就労支援、生活支援等を行う。
- * 事業所は来日した留学生の様々な問題に対応するため、学生への定期的な連絡と指導、及び問題解決に向けた協力を行う。

(事業の運営)

- * 事業所は当事業の運営に携わる担当者様をおき、担当者による連絡会を定期的に行う。連絡会においては次の事項を協議する。
 - ①留学生の募集と受入れに関する計画やスケジュールの調整と決定
 - ②在学中の留学生に関する情報交換
 - ③その他、事業の運営に関すること

(留学生の受入れ状況)

2018年度＝ 4名[男1名 女3名](留学先:中部学院大学部 別科)
2019年度＝ 1名[男0名 女1名](留学先: 同 上)
2020年度＝ 1名[男1名 女0名](留学先: 同 上)
2022年度＝ 2名[男1名 女1名](留学先: 同 上)
2022年度＝ 2名[男1名 女1名](留学先:中部学院大学部 秋別科)
2023年度＝ 3名[男3名 女0名](留学先:中部学院大学部 別科)
2023年度＝ 3名[男1名 女2名](留学先:中部学院大学短期大学部)
合計 ＝16名[男8名 女8名](令和6年3月31日現在)

令和5年度山県市南部地域包括支援センター事業報告書

法人名	社会福祉法人 同朋会
センター名称	山県市南部包括支援センター
管理者氏名	山口 和孝

地域包括支援センター人員配置			担当区域基礎データ		
①	センター長兼管理者	各1名	人口	19,531	人
②	保健師等	1名	高齢者人口	6,807	人
③	社会福祉士	2名	要支援者	253	人
④	主任介護支援専門員(兼務)	1名	ケアプラン作成数	2,529	件
⑤	その他職員	2名	内委託件数	1,486	件
合計		6名			

※ 人員配置及び担当地区データについては、令和6年4月1日時点で記載

1 運営方針に基づいた事業展開

・山県市から示された「山県市地域包括支援センター実施方針」に沿って事業展開し、委託業務の実施については「地域包括支援センター運営マニュアル3訂」を基に役割や業務の理解に努めた。マニュアル改訂に伴い、部署内で年間を通じて研修会を開催し業務理解に努めた。
 ・令和5年5月まではコロナ禍で地域活動への参加は減少していたが、感染症分類の5類への移行に伴い、再び地域活動の場へ出向くことを意識した。ふれあいサロンの実態調査や老人クラブへの出前講座や一般介護予防の場へ出向く等、インフォーマルな社会資源とのネットワーク構築に努めた。
 ・市から情報提供のあった未受診者やいきいき台帳の独居高齢者の実態把握に努め、ハイリスク者への早期アプローチに重点をおいて事業を展開した。

2 公正・中立性確保のための方針

・公的な機関であることを常に意識し、公正・中立の立ち位置で対応するよう努めている。
 ・介護サービス事業所の選定に関しては、事業所のパンフレットや事業所一覧表・やまびこマップ等を活用し、ご本人・ご家族のニーズを踏まえ事業所の選定をして頂いている。日頃から各事業所の特徴・特色の情報収集をおこなうことで、選定の際には専門的な立場で助言をおこなっている。特に居宅介護事業所の紹介の際は、空き情報も確認しながらご本人・家族の意向を踏まえ対応し、選定理由を明確にして特定の事業所に偏らないように努めた。

3 実績報告

①総合相談支援業務実績

相談内容

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護保険サービス	19	20	22	29	29	29	21	19	19	24	27	38	296
介護保険申請	18	17	12	20	25	18	17	21	16	24	27	17	232
基本チェックリスト	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	1	7
施設入所	4	4	1	3	1	2	2	4	2	2	6	3	34
認知症	9	4	8	11	7	9	15	5	5	12	7	10	102
保険・医療	6	13	8	50	18	27	9	2	5	8	6	11	163
配食サービス	0	0	2	0	0	2	2	0	1	0	2	3	12
障害	2	2	2	2	0	1	2	0	1	3	1	1	17
介護予防・市高齢福祉サービス	4	3	1	2	5	7	6	1	4	1	4	1	39
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護・成年後見制度	2	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	7
生活困窮	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	2	6
高齢者虐待	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	5
介護方法	3	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	9
その他	7	4	16	13	20	21	20	10	9	14	16	14	164
総計	74	68	74	135	112	118	95	64	66	89	97	101	1093

相談方法

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	14	23	28	25	34	23	29	33	20	30	26	39	324
訪問	26	13	22	70	27	48	31	8	23	18	26	23	335
来所	11	12	10	15	19	20	16	8	8	13	14	19	165
総計	51	48	60	110	80	91	76	49	51	61	66	81	824

相談時間帯

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
業務時間内	50	47	60	110	79	91	75	49	50	60	66	81	818
業務時間外	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4
休業日	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
総計	51	48	60	110	80	91	76	49	51	61	66	81	824

相談者

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
本人	15	21	14	65	29	47	22	11	24	18	20	29	315
家族	22	14	17	21	28	27	32	19	18	27	29	25	279
ケアマネ	2	3	8	3	1	4	4	5	1	5	1	6	43
事業者	2	2	4	4	4	2	4	2	2	2	5	5	38
主治医	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
民生委員	0	1	6	3	2	2	4	1	3	1	5	6	34
近隣者	0	1	2	4	0	2	0	1	0	0	2	2	14
知人	0	0	1	0	5	0	1	1	0	0	0	0	8
行政	2	0	2	2	3	2	1	1	1	0	1	2	17
医療機関	6	6	5	5	4	4	3	5	2	7	2	4	0
警察	2	0	1	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0
消防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2	3	1	1	3	0	0	0	1	11
総計	51	48	60	110	80	91	76	49	51	61	66	81	762

②介護予防ケアマネジメント業務実績
直営プラン作成数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護予防支援	53	54	54	56	56	59	59	58	61	63	63	67	703
介護予防ケアマネジメント(総合事業)	30	32	36	32	29	30	27	29	25	25	23	22	340
合計	83	86	90	88	85	89	86	87	86	88	86	89	1043

委託プラン数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護予防支援	98	96	96	93	89	90	90	89	90	86	83	87	1087
介護予防ケアマネジメント(総合事業)	31	32	33	35	33	32	31	32	33	32	35	40	399
合計	129	128	129	128	122	122	121	121	123	118	118	127	1486
プラン総数(直営+委託)	212	214	219	216	207	211	207	208	209	206	204	216	2529

担当者会議出席数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括分	9	14	9	14	14	12	18	8	11	8	10	10	137
委託分 ※出席回数	11	11	6	13	8	12	9	10	8	5	9	20	122
合計	20	25	15	27	22	24	27	18	19	13	19	30	259

③虐待事例への対応実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体的虐待	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
心理的虐待	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
性的虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済的虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護放棄	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 ※重複あり	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	5

被虐待者

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女性	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
合計	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	4

虐待者

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
配偶者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
同居の子	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
別居の子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	4

④成年後見制度について

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
成年後見制度相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活自立支援事業相談	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3

4 市と協力して実施する事業の取り組み

①在宅医療、介護連携推進事業の取り組み

・令和2年度からコロナ感染拡大により協議会としての活動は停滞していたが、R5年度は協議会が再開し、委員として意見を述べるとともに研修会に参画した。グループワークと講演会は関係者からは概ね好評であったため、次年度も引き続き参画し取り組んでいく。
・センターとしては個別ケースにて医師への助言、連携シートの送付等により連携強化に努めている。年度替わりには医療機関に挨拶に出向き包括の役割周知に努めた。次年度も年度代わりに挨拶に出向きたい。

②生活支援体制整備事業の取り組み

・生活支援コーディネーターとの連携会議を2ヶ月おきに実施し連携強化を行うことができた。住民との茶話会に適宜参加し、地域の活動の方と意見交換することができた。
・サロンや老人クラブ等へ出向き出前講座を行う等、地域活動への参加を再開した。包括の周知の他、「消費者被害」、「認知症になりにくい生活習慣」、「老後を自分らしく生きるために」等、年間で13回程出前講座に出向いた。
・NPO法人どんぐり会定例会への参加やまめかなクラブ・脳をげんきにする教室への見学等、一般介護予防事業者との積極的な連携に努めた他、JA桜尾ふれあいプラザへの講座協力、山県グリーンポートが新たに行う体操教室の開催支援等、住民が介護予防できる場所の参加促進・開発を意識した。
・ネットワーク構築の一環として、支所、公民館、金融機関、新聞店等にもアプローチをおこなっている。令和5年度は医療機関と薬局にも展開し連携強化を図った。2月には福祉課主催の見守りネットワーク事業向け研修に参加し、包括の役割や連携について事例を用いて理解を求めた。定期的な訪問活動や研修の成果もあり、認知症を疑われる方の情報提供を頂けている。

③認知症総合事業の取り組み

・総合相談で認知症が疑われる場合は「認知症安心ガイドブック」を積極的に活用し、認知症の支援・家族の認知症の理解に努めた。市民向けにも老人クラブやサロン等での出前講座により認知症の理解の普及・啓発に取り組んだ。
・認知症地域支援推進員の活動として市と協同し、「認知症を知るパネル展示会」を9月に実施することができた。昨年度に続き2回目の実施で、場所を平和堂に変えたことで、より多くの方に見てもらえることにつながった。
・認知症サポーター養成講座については、コロナ禍で依頼もなくほとんど開催ができていなかったが、今年度は平和堂、民生・児童委員、佐賀自治会、ボランティア講座、伊自良南小学校等多様な年代や属性の方へ実施をすることができた。

④地域ケア会議の実施

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
地域ケア会議 開催回数	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	6
合計	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	6

・地域ケア個別会議については、年度当初に精神疾患の疑われる方の近隣トラブル問題について、支援者間の情報共有や支援方策の検討をおこなった。5月以降は実施がない状況である。
・自立支援のための地域ケア会議については、市が主導で11月に4ケース実施した。今年度は南部包括からも事例をあげさせてもらい、専門的な助言を受けて新たなモニタリングの視点を学ぶことができた。
・包括内や生活支援コーディネーターとの連携会議内では地域課題を共有する機会があったものの、政策形成に結び付けるための推進会議については実施がなかった。

2023年度 美山荘事業報告書

1.運営方針の基本

- ① 利用者の養護の万全に期すると共に生きがいの発見、助長に努める。
- ② 地域社会との交流を深め、高齢者(地域)のセフティーネットや総合相談窓口としての機能を発揮する。
- ③ 様々な利用者に対して支援する職員が、多様なニーズに対応するため、研修プログラムを充実させる事により専門性の向上を図り、より多くのノウハウを身につけていく。

2.事業の概要

	60歳以下	60歳～	70歳～	80歳～	90歳～	計	現員 39名
男性	0	2	13	4	0	19	措置入所35名 契約入所 4名
女性	0	1	3	11	5	20	
計	0	3	16	15	5	39	

合計 39名
 ※入所50名の定員に対しできるだけ定員に近い人数を確保(新規利用者への開拓)できるように引き続き行っていく。
 特に今年度は措置者の退所(逝去や病院から戻ってこれない等)数が多かったため欠員多く措置入所希望者を行政に募っていく。
 ※山県市高齢者緊急一時保護事業の継続(高齢者虐待ケースの本人と養護者の分離目的) 今年度も利用なし

※山県市生活管理指導短期宿泊事業の継続(ひとり暮らしの高齢者が要介護状態となることを予防する為、短期間の宿泊により基本的な生活習慣を確立する) 今年度 1名
 ※「契約入所」にて現在4名の方にご利用頂いている。

3.職員体制

	施設長	事務職員	主任生活相	生活相談員	支援員	看護師	栄養士	医師
常勤	1	1	1	1	4	1	1	0
非常勤	0	0	0	0	2	0	0	1
計	1	1	1	1	6	1	1	1

10月に1名異動になったが、新たな人材は確保せず、何とかやってきた。 計 12名

4.重点事項

- ・南部、北部の地域包括、同朋会在支・市役所との連携は不可欠であり情報提供をしている。
- ・労働人口の減少を踏まえ、次世代の職員の人材確保が必要である事からダイバーシティな人材確保を考えていく。
- ・措置利用者の空きがないよう行政に働きかけると共に、「契約入所」の利用を分かりやすく使いやすくしていく。
- ・常時、新規入所者への開拓。多様化している入所者に対して特に精神科への受診者が増えているが、そのように対応していく。今後も病院の医療ソーシャルワーカー、精神科ソーシャルワーカーや専門医との情報共有を大事にしていく。
- ・利用者の重度化も進んでいるが、家庭環境や経済的状況により容易に介護保険施設に移行する事が難しい。
- ・環境整備面は、将来を考慮し緊急性の高い箇所のみ修繕を行っているが限界近い箇所もあり随時検討必要。
- ・23年7月中旬より3週間、新型コロナウイルス感染拡大のため3分の2を占める罹患者を多数隔離せざるおえない状況になっており、利用者の心身状況に影響を来したことを踏まえ、今後も感染症対策の徹底と適切な初動対応が必要。
- ・法人としてのSDG's推進の方針に基づいて、今年度途中から社協と他社会福祉法人との連携によるフードバンクの窓口として今後も継続していく。
- ・中学生・高校生によるインターンシップは2名の受け入れをしており来年度も継続していきたい。
- ・介護の仕事紹介と将来の介護人材確保の為、高富中のキャリアナビに主任生活相談員が講師として出席した。
- ・措置費の増額や介護保険施設の処遇改善加算等に替わる職員の給与面の向上を今後も継続して行政に請願していく。
- ・BCPIについては作成済みであるが、最低限の職員でどのように取り組むとより効果的であるかは定期的な訓練機会が必要と思われる。(道具や食料品等備蓄の定期的な確認及び入れ替えが必要)

5.年間行事実施状況

4月	7月 大栄翔関来荘	10月 荘内GG大会	1月 新年会
5月 荘外外出	8月	11月	2月
6月 荘内GG大会	9月 敬老会	12月 忘年会・餅つき	3月 雛祭り食事会

※新型コロナの状況を踏まえ感染予防に努めつつ進めてきた。

- ・月間行事の毎月の買い物外出は1グループ3～4名で職員2～3名同行して、1日2グループで1日～2日程かけて行っているが、天候等により1日で実施したり、滞在時間をできるだけ短時間に済ませるようにしている。
- ・11月にコロナ後はじめて紅葉散策並びにおちよぼ稲荷参拝、買い物に出かけることが出来、参加者は皆満足そうだった。
- ・年度が替わり4月から6月にかけて時間、方法、行先等考えた上で数回に分けて外出再開した。一部外食され満足気だった。
- ・新型コロナウイルス感染者が多数発生。7月中旬より3週間程感染拡大予防に徹した。結果として利用者31名、職員4名が罹患された。罹患患者、非罹患患者の分離及びそれぞれの対応に手間暇を要するとともに、行事の中止も苦渋の決断をした。職員自らの罹患もあり、残った職員の心労が大きかっただけでなく、利用者にとっても心身的負担の大きい期間であった。しかしながら、皆様のご協力やご支援により比較的早期に事態を収束することが出来て、改めて法人の有難みを感じた。ただ、クラスターは2度、3度と起こる事も十分考えられるため、この騒動を総括し、今後の予防により生かしていきたい。
- ・昨年12月、今年1月に101歳、99歳の方がお亡くなりになられた。他の方も高齢に伴う重篤化が目立ってきている。
- ・今年度は6名の入所者に対して11名の退所者(うち8名逝去)と多かった。全体の在籍月が13年と昨年度に比べ現象している。
- ・1月に措置入所された方が施設のルールを守れず在宅願望が強く、行政が根気強く説得されたが聞く耳持たず3週間で退所となった。本人が本当に入所に関して納得していない事が背景としてあり、今後もそういった事例に対しては適正に対処していく。
- ・措置者の急激な増加が見込めない事から契約入所者の確保に努める必要があり、ケアハウスを意識した利用料金的大幅な見直しを行い、包括や居宅介護支援事業所等へアピールしている。(令和6年3月15日より改定)

6.会議の開催

会議名	開催頻度	主な事項
職員会	1回/月	各会議の報告・行事関係、医務関係、研修等報告・来月の予定等
研修委員会	1回/月	研修報告と連絡、日程等
行事委員会	随時	反省と翌月の打ち合わせ等
給食委員会	1回/月	厨房との献立調整と入所者の食事形態の確認
支援員会議	1回/月	利用者への対応の統一と生活課題等の検討
ケース会議	1～2回/月	ケアプランの実施状況及び必要に応じての修正検討・情報共有
感染症対策委員会	1回/月	新型コロナウイルスを中心とした感染症対策の検討及び実施状況確認
身体拘束委員会	1回/月	身体拘束の検討を要する利用者について必要に応じて協議
事故対策委員会	1回/月	事故の原因と今後の対策について協議
栄養士会議	1回/月	法人事業所の栄養士の会議各事業所からの問題点等あれば検討
虐待防止委員会	1回/月	各事業所での対策と法人全体での統一事項等確認

※法人内各委員会においては新型コロナウイルス感染症の状況変化に合わせて集合もしくはリモートで開催された。今後は従前どおりの集合型研修を開催する事が増えてくると思われる。

7.研修会

県老人福祉施設協議会	集合、リモート等開催内容に合わせ人選し参加した。出来るだけ集合型に参加するよう努めた。10月東海北陸ブロック大会(名古屋)2名参加、11月全国大会・研究会議(岐阜)2名参加。
共済会関係	集合、リモート等開催内容に合わせ人選し参加。現場の職員が最低限しかいないという事もありなかなか参加できなかった。
他の研修	集合、リモート等開催内容に合わせ人選し参加。現場の職員が最低限しかいないという事もありなかなか参加できなかった。
地域ケア会議	開催なし
荘内の研修	※新型コロナ感染予防の点から見合せる。

令和5年度 かがしまこども園事業報告書

保育方針の基本等

社会福祉法人同朋会の基本理念である「一つの命を共に生きる」を指針として、また、保育士倫理綱領である「子どもたちの最善の利益を図り、育ちを支える」ための責任と誇りをもって取り組みました。子ども一人ひとりの個性を受け止め、のびのびとした生活ができるよう物的環境を工夫し、人的環境として笑顔で接することを心がけ、友達や保育者とのかかわりを大切にしながら、教育・保育を実践しました。新型コロナウイルスが5類に移行し、クラス運営が安定したが、その他の感染防止対策としても引き続き、保育室及び玩具の清掃・消毒等を毎日定期的に行い、感染防止に努めました。行事開催にあたっては、社会情勢を鑑み対策を講じつつ、また、行事運営の見直しを行いながら予定した行事のすべてを実施しました。行事を通して子どもの成長を喜び合う機会を持ち、保護者との信頼関係構築にも努めました。地域交流も一部復活しました。新しいICT導入に伴い、購入したタブレットは『コドモン』アプリでのお便り等の配信や保護者との連絡、また、登降園の管理等に活用し、業務の合理化を図りました。5月に赤い羽根共同募金の補助金を受けて外壁塗装を行い、ひび割れの修繕と色褪せや汚れが一扫され、外観が美しくなったことを地域の方にも喜ばれました。また、11月には防水工事を行い、深刻な雨漏りへの対策ができたので、安全性を保てることができました。

- 保育年齢 0歳(産休明け生後57日以降)～小学校就学前
- 特別保育サービス 延長保育・障害児保育・乳児保育・一時預かり事業
- 給食費(3歳児以上) 副食費(月額)4500円 主食費(月額)700円
- 特色ある行事 春の遠足・子どもフェスティバル(子どもの日)・保育参観・夏祭り・プール開き・運動会・秋の遠足・お土産さんごっこ・ゆうびんごっこ・花餅作り・新年お楽しみ会・節分(豆まき)・生活発表会・ひな祭り・お別れ会食
- 定員 148名(教育卒9名、保育卒139名)
- 鉄筋コンクリート造2階建 建物面積865.8㎡
- 特色ある保育 手話教室・英語教室・サッカー教室

1.月別利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	7	7	7	9	10	10	10	10	10	11	11	11	113
1歳児	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	251
2歳児	25	26	26	26	25	25	26	26	26	26	26	26	309
3歳児	30	30	30	30	30	29	27	26	27	27	27	27	340
4歳児	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	354
5歳児	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	29	29	352
計	142	144	144	146	145	144	142	141	142	143	143	143	1719

5.一時預かり利用児童数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未満児	0	10	17	18	13	30	14	12	22	19	10	20	185
以上児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	10	17	18	13	30	14	12	22	19	10	20	185

2.標準時間・延長利用児童数

標準時間保育 平日 7:00～18:00 土曜日 7:00～18:00
 延長保育 平日 18:00～20:00 土曜日 18:00～19:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	6	6	8	8	8	9	9	10	10	10	9	99
1歳児	19	19	18	19	18	19	20	20	20	20	20	21	233
2歳児	26	26	26	25	23	23	25	24	24	24	24	23	293
3歳児	25	25	25	25	24	23	22	20	22	22	22	23	278
4歳児	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	330
5歳児	26	26	26	26	25	26	25	24	25	25	24	25	303
計	126	130	129	131	126	126	128	124	126	128	127	128	1529

6.保育時間	平日	土曜日
短時間	8:30～16:30	8:30～12:00
標準	7:00～18:00	7:00～18:00
延長	7:00～20:00	7:00～19:00

3.障害児利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
以上児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11

4.年間主要行事(毎月行っている誕生会、げんき会、英語教室、手話教室、サッカー教室[年9回]等を除く。)

主 要 行 事		主 要 行 事	
4月	入園式・新入園児歓迎会・ワクワク運動遊び	10月	運動会・芋掘り・秋の遠足・おみせやさんごっこ縦割り活動
5月	子どもフェスティバル・春の遠足・ワクワク運動あそび	11月	保育参観・七五三参り・消防署による避難訓練・おみせやさんごっこ縦割り活動
6月	個人懇談・ぞうさんクラブ交通教室・保育参観	12月	おみせやさんごっこ開店日・花餅作り(民生委員との交流)
7月	七夕祭り・プール開き・夏祭り(民生委員との交流)・ワクワク運動あそび	1月	ゆうびんごっこ・新年おたのしみ会・個人懇談(年長児)
8月	夏野菜の収穫・プール納め・ワクワク運動あそび	2月	節分(豆まき)・生活発表会・ぞうさんクラブ交通教室・小学校との交流活動・ワクワク運動
9月	ワクワク運動あそび・祖父母参観	3月	ひなまつり会・お別れ会食・卒園式

職員構成	人数	(研修会)	回数
園長	1名	・日本保育協会オンラインセミナー	年1回
事務長	1名	・東海北陸保育研究大会	年1回
保育士	17名 他パート9名	・保育士等キャリアアップ研修	年6回
看護師	1名	・岐阜市研修学習会	
管理栄養士	1名	年齢担当別等部会	年7回
調理員	3名	エピソード研修	年6回
駐車場	2名	・岐阜県保育研究協議会	
計	36名	施設長研修会	年1回
		階層別研修	年1回
		課題別研修	年1回
		テーマ別研修	年1回
		保育士研究発表会	年1回
		ブロック別研修会	年1回
		・岐阜県民間保育園連盟 研修会	年1回
		・岐阜市幼小合同研修会	年2回
		・同朋会研修会(新人・リーダー研修等)	年5回
		・同朋会研究発表会	年1回
		・職員会議(虐待防止委員会・給食委員会)	毎月
		・主幹・副主幹会議:リーダー会議	毎月
		・以上児職員『ワクワク運動遊び』研修(補助金)	年6回

令和5年度 かようこども園事業報告書

保育方針の基本

当保育園は社会福祉法人同朋会の基本理念である「一つの命を共に生きる」を指針として、日々子どもたち(保護者)の最善の利益を図ってまいりました。家庭や地域の方々と連携して、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境のもとに、個性を尊重しながら「心豊かでたくましい子」の育ちに努めました。在宅で育児をしている家庭に対しては、園庭開放や子育て相談に応じるなどの支援を行いました。園庭にある倉庫の老朽化が進んでいたため、取り壊して新たに設置しました。保護者アプリコドモンの本格的な始動を行い、登園及び降園の際の打刻、お休みや遅刻の連絡、未満児の連絡帳をコドモンで行いました。

- 保育年齢 0歳(産休明け生後57日以降)～小学校就学前
- 特別保育サービス 延長保育・障害児保育・乳児保育・一時預かり事業
- 給食費(3歳以上) 副食費(月額)4,500円 主食費(月額)700円
- 特色ある行事 春の遠足・子どもの日お楽しみ会・保育参観・夏祭り・プール開き・祖父母への手紙投函・運動会・秋の遠足・お店屋さんごっこ・クリスマス会
新年お楽しみ会・節分(豆まき)・ひな祭り
- 定員 129名(教育卒9名、保育卒120名)
- 鉄筋コンクリート造2階建 建物面積1058.39㎡
- 特色ある保育 手話教室・英語教室・サッカー教室・スポーツ教室

1.月別利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	1	2	5	7	8	11	11	11	11	11	11	11	100
1歳児	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	244
2歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
3歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
4歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
計	118	119	122	124	124	127	127	127	127	127	127	127	1496

2.標準時間・延長利用児童数

標準時間保育 平日 7:00～18:00 土曜日 7:00～18:00
延長保育 平日 18:00～20:00 土曜日 18:00～19:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	1	2	5	5	6	10	11	11	11	11	11	11	95
1歳児	17	18	19	19	18	18	18	19	20	20	20	20	226
2歳児	19	19	19	18	18	19	19	19	19	19	19	19	226
3歳児	23	23	23	23	23	23	22	22	22	21	21	22	268
4歳児	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	236
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	22	21	21	21	253
計	100	102	107	106	106	111	111	112	114	112	111	112	1304

3.障害児利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
5歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72

4.年間主要行事(毎月行っている誕生会、なかよし会、英語教室、手話教室、スポーツ教室、サッカー教室等を除く。)

主 要 行 事		主 要 行 事	
4月	入園・進級式・春の遠足	10月	運動会・芋掘り・秋の遠足
5月	子どもの日お楽しみ会・個人懇談	11月	個人懇談
6月		12月	お店屋さんごっこ・クリスマス会
7月	プール・水遊び開始 七夕会	1月	新年おたのしみ会・鬼見学
8月	おばけやさんごっこ・夏祭り プール納め	2月	節分(豆まき)・生活発表会・ぞうさんクラブ交通安全教室
9月	祖父母への手紙投函	3月	ひな祭り・お別れ会・卒園式

5.一時預かり利用児童数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未満児	0	6	3	3	5	10	12	21	11	14	13	10	108
以上児	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5
計	2	6	3	3	8	10	12	21	11	14	13	10	113

6.保育時間 平日 土曜日
短時間 8:30～16:30 8:30～16:30
標準 7:00～18:00 7:00～18:00
延長 7:00～20:00 7:00～19:00

職員構成

園長 1名
主幹保育教諭 2名
保育教諭 22名 (うちパート8名)
看護師 1名
事務員 1名
調理員 5名
計 32名

(研修会)

- ・東海北陸研究大会 年1回
- ・岐阜市研修学習会 年15回
- ・年齢担当別等部会 年7回
- ・エピソード研修 年3回
- ・岐阜県保育研究協議会
- ・施設長研修会 年1回
- ・階層別研修 年1回
- ・課題別研修 年1回
- ・テーマ別研修 年1回
- ・保育士研究発表会 年1回
- ・ブロック別研修会 年1回
- ・岐阜県民間保育園連盟 研修会 年1回
- ・保育士等キャリアアップ研修 年6回
- ・同朋会研修会(新人・リーダー研修等) 年5回
- ・同朋会研究発表会 年1回
- ・職員会議 毎月
- ・リーダー会議 随時

令和5年度 高富保育園事業報告書

保育方針の基本等

令和5年度は山県市からの移管初年度であったこともあり、山県市がこれまで「こころ豊かな生き生きとした子どもを育てる」とした保育目標を引継ぎつつ、法人の基本理念である「ひとつの命を共に生きる」を指針として、日々子どもたち(保護者)の最善の利益を図るため、毎日の教育・保育に努めてまいりました。

新型コロナウイルスが5類に移行し、クラス運営は安定しましたが、感染防止対策は引き続き実施し、保育室及び玩具の清掃・消毒等を毎日定期的に行い、感染防止に努めました。

行事開催にあたっては、社会情勢を鑑み対策を講じつつ、また、行事運営の見直しを行いながら予定した行事のすべてを実施しました。行事を通して子どもの成長を喜び合う機会を持ち、保護者との信頼関係構築にも努めました。

『コードモン』アプリでのお便り等の配信や保護者との連絡、また、登降園の管理等、ICTを活用した業務の合理化を図りました。

9月に山県市の補助金を受けて行ったベランダサッシの改修により、雨漏りへの対策ができ安全性を保つことができました。本館の階段両側に手摺りを設置したことで、園児の昇り降り時の安全がより確保できるようになりました。

- 保育年齢 0歳(産休明け生後57日以降)～小学校就学前
- 特別保育サービス 延長保育・障害児保育・乳児保育・一時預かり事業
- 給食費(3歳児以上) 無償(山県市が全額補助)
- 特色ある行事 保育参観・プール開き・運動会・秋の遠足・七五三詣り・発表会・クリスマス会・新年お楽しみ会・節分(豆まき)・ひなまつり・お別れ遠足・お別れ会
- 定員 184名(教育枠12名、保育枠172名)
- 鉄筋コンクリート造2階建 建物面積1,138.32㎡
- 特色ある保育 手話教室・英語教室・スポーツ教室・書道教室

1.月別利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	2	5	9	10	11	14	15	15	15	15	15	15	141
1歳児	16	18	18	19	19	19	20	22	22	22	22	23	240
2歳児	23	23	24	26	28	28	28	29	30	29	29	29	326
3歳児	18	18	19	19	18	18	18	18	19	19	19	20	223
4歳児	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396
5歳児	34	34	35	35	35	35	36	36	36	36	36	36	424
計	126	131	138	142	144	147	150	153	155	154	154	156	1750

5.一時預かり利用児童数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未満児	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
以上児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8

2.標準時間・延長利用児童数

標準時間保育 平日 7:30～18:30 土曜日 7:30～18:00
 延長保育 平日 18:30～19:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	2	2	8	9	10	10	12	12	12	12	12	12	113
1歳児	9	10	11	12	12	11	11	13	14	14	13	14	144
2歳児	16	16	17	18	18	20	20	19	19	18	18	17	216
3歳児	9	11	11	11	11	11	11	9	9	9	9	10	121
4歳児	18	18	18	18	18	21	21	18	18	18	17	15	218
5歳児	15	15	16	15	15	13	14	12	12	12	12	12	163
計	69	72	81	83	84	86	89	83	84	83	81	80	975

6.保育時間	平日	土曜日
短時間	8:30～16:30	8:30～16:30
標準	7:30～18:30	7:30～18:00
延長	7:00～19:00	

職員構成

園長	1名
副園長	1名
主幹保育教諭	2名
保育教諭	27名
看護師	1名
事務員	1名
計	33名

(研修会等)

・東海北陸保育研究大会	年1回
・保育士等キャリアアップ研修	年2回
・岐阜県保育研究協議会	年6回
施設長研修会	年1回
階層別研修	年7回
課題別研修	年6回
テーマ別研修	年1回
保育士研究発表会	年1回
ブロック別研修会	年1回
・岐阜県民間保育園連盟 研修会	年1回
・同朋会研修会(新人・リーダー研修等)	年1回
・同朋会研究発表会	年1回
・代表者会議	毎月
・職員会議(給食委員会)	毎月

3.障害児利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
以上児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

4.年間主要行事(毎月行っている誕生会、食育指導、保健指導、避難訓練、発育測定、交通安全教室、誕生会、英語教室、手話教室、スポーツ教室[年9回]、書道教室等を除く。)

主 要 行 事		主 要 行 事	
4月	入園式、新入園児歓迎会	10月	運動会、市交通教室、内科健診
5月	市交通教室、親子引き渡し訓練、内科健診	11月	秋の遠足
6月	保育参観、歯科健診	12月	発表会、クリスマス会
7月	七夕会、プール・水遊び開始	1月	新年お楽しみ会、保育参観
8月	プール・水遊び終了	2月	節分(豆まき)
9月		3月	ひなまつり会、お別れ遠足、市交通教室、お別れ会、卒園式